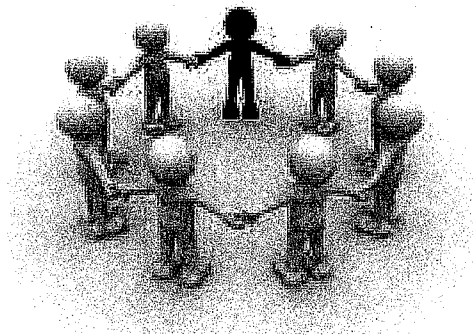


公益社団法人 日本看護協会実施

厚生労働省
先駆的保健活動
交流推進事業(予定)

統括保健師人材育成プログラム 実施要綱及び参加者募集要項



平成26年4月25日

公益社団法人日本看護協会

目 次

1. 実施要綱	1
2. 参加者募集要項	5
参加応募書類様式1～3	11
3. 学習内容(案)	17

1 実施要綱

統括保健師人材育成プログラム 実施要綱

1. 事業目的

保健師に期待される役割は拡大し、保健師の活動領域・分野は広がっています。こうした実態から、保健師は様々な分野に分散して配置されるようになり、個人／家族・世帯／地域を制度、年齢、疾病等で区切る傾向が懸念されています。

そのため、分散配置されている保健師間の連携・協働を図り、健康課題の整理等を行いながら、効果的な保健活動を実践するために組織横断的な取り組みを行う統括保健師の配置が望ましいことが通知等^{※1)2)}に示され、推進されているところです。

しかし、本会の調査では統括保健師が計画的に育成されていない現状も明らかになっています。

そこで、本会では平成 23 年度から統括保健師の役割・機能、配置のあり方等の検討を重ね「統括保健師人材育成プログラム」を開発しました。市町村における統括保健師の実践的な力量形成を図り、組織全体の保健師の活動向上に寄与できる人材育成を目指します。

2. 事業実施期間

平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月

3. 事業の内容

1) 統括保健師人材育成プログラムの実施

市町村の統括保健師を対象とした「統括保健師人材育成プログラム」を実施する。
統括保健師として、質の高い保健活動を推進するために必要である自組織内の組織横断的な調整を図る能力を強化する。

(1) 参加者の募集

参加者には、統括保健師として個人の力量を高めるだけでなく、自組織において組織の活性化につながるような保健活動の推進に貢献し、その成果を提示していくことを期待する。

(2) 参加者の対象

市町村（区を含む）の保健師であり、以下の条件を満たすもの

①本プログラムの参加にあたり、上司の推薦が得られる者

※1) 厚生労働省健康局長通知「地域における保健師の保健活動について」平成 25 年 4 月 19 日付健発 0419 第 1 号

※2) 地域における保健師の保健活動に関する検討会報告書、平成 25 年 3 月

②原則として、現在統括保健師（統括的役割を担う立場の保健師）である者

※概ね 15 年相当の保健師としての実務経験を想定

③原則として、全日程（事前学習を含む、前期集合研修の宿泊含む）に参加できる者

(3) 募集締切

平成 26 年 5 月 22 日（木）正午必着

(4) 周知方法

協会ニュース、本会ホームページ掲載、都道府県看護協会への文書、保健師職能委員会への依頼、厚生労働省保健指導室メーリングリスト、保健関連雑誌等（週刊保健衛生ニュース）

(5) 研修の内容

別紙「募集要項」を参照

(6) その他

本プログラム修了者には、日本看護協会から修了証を発行する。

（原則、本プログラムを全て修了した者）

2) 統括保健師人材育成プログラムの精錬

上記 1) 実践などを踏まえ、特別委員会にてプログラムの精錬を行う。プログラム実践講師の意見や参加者アンケート等から本プログラムの評価を実施する。

4. 推進体制

有識者等による特別委員会「統括保健師人材育成プログラム検討委員会」を設置する。統括保健師人材育成プログラムの実施にあたっては、統括保健師としての実践経験が豊かな講師も招聘し、プログラムを実施する。

5. 成果の普及方法

報告書、協会ニュース、本会公式ホームページ、関連学会等で成果を公表する。

6. 問合せ先

公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課

（担当：金丸・橋本）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

電話 03-5778-8844 メール hokenshi@nurse.or.jp

2 参加者募集要項

統括保健師人材育成プログラム 参加者募集要項

1. 目的

市町村（区含む）において、自組織内の組織横断的な調整を図り、質の高い保健活動を推進するために必要な能力を強化することを目的とする。

2. 目標

効果的な保健活動を展開するために、組織横断的な「統括保健師」の役割・機能を理解し、その機能の発揮に不可欠な知識やスキルを強化する。

- ①統括保健師の役割や機能を十分に理解し、その実践ができる。
- ②統括保健師としての役割を果たしていくための意識（自信）が高まる。
- ③組織の中で統括保健師としての明確な位置づけを、自身の組織で確保できる。

3. 実施期間

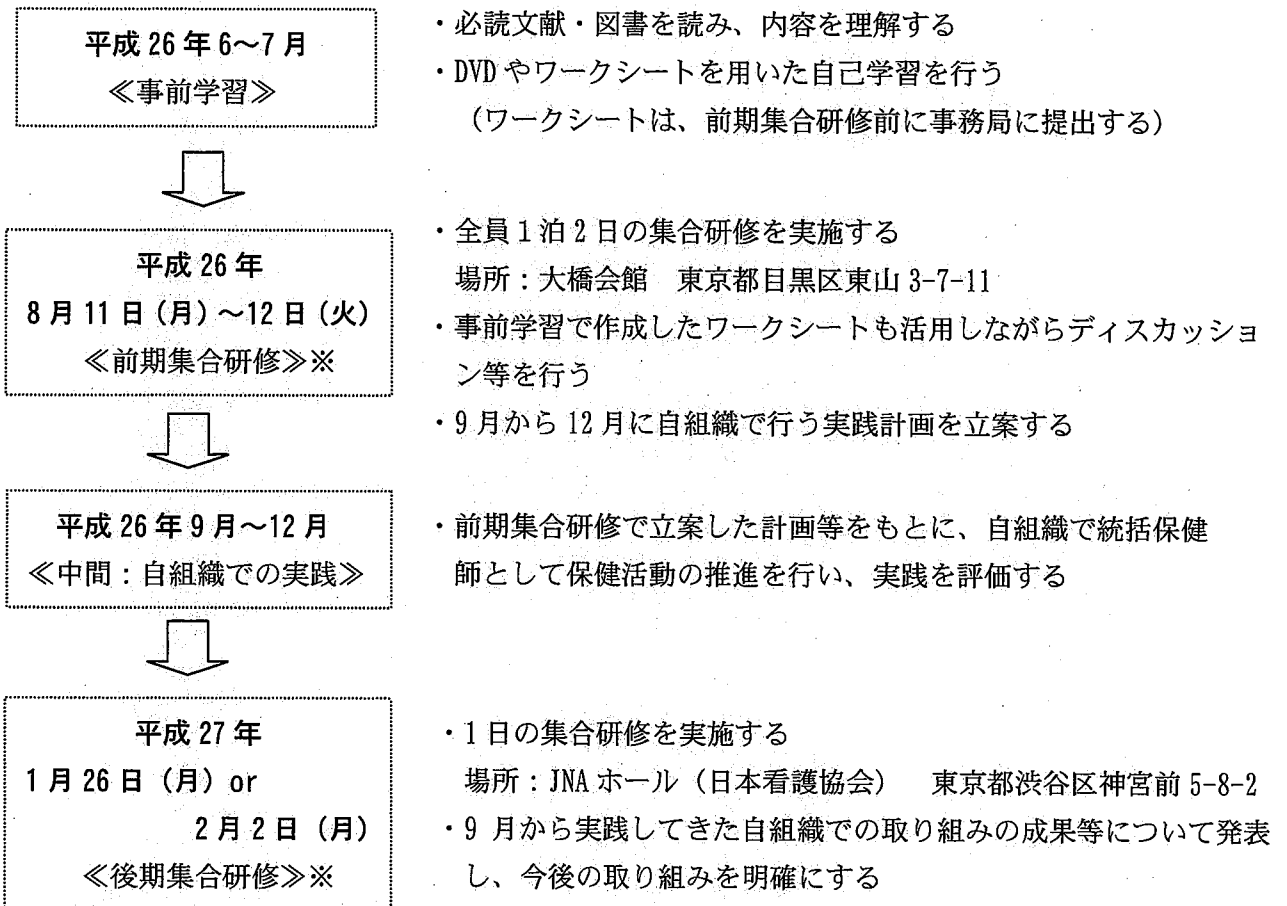
平成 26 年 6 月～平成 27 年 2 月

4. 内容

1) プログラムの特徴

- (1) 本プログラムは、大きく「事前学習」「前期集合研修」「組織での保健活動の実際」「後期集合学習」の 4 つで構成されている。学習効果等も考慮し、約 10 カ月のプログラム構成としている。
- (2) 座学だけではなく、DVD 学習、職場での実際の活動や、集合研修での演習、ディスカッションなどを複合的に組み合わせ、自身の統括保健師としての感度、強度を高めるプログラムである。
- (3) 統括保健師として自組織内の多くの賛同を得ながら、保健活動を推進していく実際に体験し、必要な力量を強化するプログラムである。
- (4) 参加者同士のネットワーク構築にも力を入れ、研修終了後も互いに情報交換をし、高めあいながら成長し続けられるプログラムを目指している。

2) プログラムの構成



※集合研修のディスカッションでは、6～7 人の研修生に 1 名の講師がつき、スーパーバイズを受けながら学習を深めていく。

3) 講師等（予定）

【講師】

中板育美	日本看護協会常任理事
平野かよ子	長崎県立大学/特命教授
嶋津多恵子	武蔵野大学看護学部看護学科/教授
永江尚美	島根県立看護大学看護学部看護学科/准教授
米澤純子	国立保健医療科学院生涯研究部/主任研究官
山口佳子	東京家政大学看護学部看護学科/教授
藤丸知子	帝京大学福岡医療技術学部看護学科/教授
宇田優子	新潟医療福祉大学健康科学部看護学科/准教授
鎌田久美子	福岡県糸島保健福祉事務所/副所長、全国保健師長会/会長

【オブザーバー】

厚生労働省 健康局がん対策・健康増進課保健指導室

井伊久美子 日本看護協会専務理事

4) 評価

講師の意見や参加者アンケート等から、参加者の力量形成の状況やプログラムについての評価を実施する。

5) その他

本プログラム修了者には、日本看護協会から修了証を発行する。

(原則、本プログラムを全て修了した者)

5. 募集及び選考方法

本事業の「統括保健師人材育成プログラム」に参加する保健師を以下の要件で募集する。応募者の中から書類審査を行い、必要な場合は面談を実施し参加者を選定する。選定結果は、文書で平成 26 年 6 月中旬までに応募者へ通知する。

募集定員：約 50 名

6. 応募資格

市町村（区を含む）の保健師であり、かつ以下の条件をすべて満たす者

- ①本プログラムの参加にあたり、上司の推薦が得られるもの。
- ②原則として、現在統括保健師（統括的役割を担う立場の保健師）である者
※概ね 15 年相当の保健師としての実務経験を想定
- ③原則として、全日程（事前学習を含む、前期集合研修の宿泊含む）に参加できる者

7. 成果の公表について

- 1) 本事業の普及啓発をねらい、成果の公表や学会発表、取材等には積極的に対応して頂きたい。

- 2) 発表時期は、日本看護協会が報告書を作成・発表する平成 27 年 4 月以降とする。
- 3) 本事業実施途中に取材等を受ける場合には、事務局にあらかじめ連絡をする。

8. 費用について

- 1) 本プログラムは、厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業（予定）の一環として実施するため、受講料は無料。
- 2) 受講料以外にかかる費用（事前学習に使用する文献等の入手に係る代金、学習提出の際に郵送などの方法を用いる場合の送付料金、集合研修に参加するにあたっての旅費・日当・宿泊費・食費等）は、参加者が負担する。
- 3) 集合研修は平成 26 年 8 月 11 日（月）～12 日（火）に行われる前期集合研修と平成 27 年 1 月 26 日（月）もしくは 2 月 2 日（月）に予定されている後期集合研修がある。集合研修の実施についての概要は下記の通り。
- 4) なお、前期集合研修については宿泊を必須としている。宿泊の予約（全員が大橋会館に宿泊）は、事務局が行う。（個人で下記の会場には予約・連絡はしないよう願います）
- 5) 後期集合研修については、宿泊を必須としておらず、宿泊が必要な場合は自己手配となる。（事務局で宿泊の予約、紹介等を行わない）

集合研修日時	会場	費用
①前期集合研修 平成 26 年 8 月 11 日（月） 9：30（受付開始 9：00） ～平成 26 年 8 月 12 日（火） 15：30 ※1泊2日の研修（宿泊は必須）	大橋会館 住所：東京都目黒区東山 3-7-11 アクセス：渋谷駅から東急 田園都市線各駅停車で「池 尻大橋」下車。改札より徒 歩約 3 分。	・シングルルーム 1 泊（食 事なし）税込 6,500 円 ・朝食（1 食：バイキング） 税込 650 円 ※朝食は宿泊先である大橋会館で食 事をした場合の価格。
②後期集合研修 平成 27 年 1 月 26 日（月） 9：30（受付開始 9：00） ～16：30	JNA ホール 住所：東京都渋谷区神宮前 5-8-2 アクセス：東京メトロ「明 治神宮前」・「表参道」、JR 山 手線「原宿」が最寄り駅	※宿泊が必要な場合は自己手配

9. 応募方法

1) 応募書類の提出

研修参加希望者は、応募書類（様式 1～3）を、以下の提出先住所に送付する。書式は、日本看護協会公式ホームページ（<http://www.nurse.or.jp>）よりダウンロードする。なお、提出された書類は返却しない。

2) 応募締切

平成 26 年 5 月 22 日（木）正午必着

3) 送付先

封筒に「統括保健師人材育成プログラム応募」と朱書きし、以下に送付する。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課

【問い合わせ】

公益社団法人日本看護協会 健康政策部保健師課 金丸・橋本
電話 03-5778-8844 メール hokenshi@nurse.or.jp

資料番号	※記入不要
------	-------

平成 26 年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業（予定）
統括保健師人材育成プログラム

職務経歴書

平成 年 月 日現在

ふりがな 氏 名			性別	男・女	生年月日	(歳) 昭和 年 月 日生	
ふりがな 現 住 所	〒				電話番号(自宅)		
勤務先	所属	市町村	部課	係	電話番号		
						FAX番号	
		e-mailアドレス					
	所在地	〒 都道府県					
連絡受信場所 ※現住所・勤務先と異なる場合のみ記入		〒			電話番号 (携帯)		

- 氏名、勤務先、電話番号、e-mailアドレスを受講者名簿に掲載し、受講者名簿は、受講者同士の情報交換のために配付させていただきますのでご了承ください。
- 皆様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範および本会諸規程に則り適正に管理いたします。

(職 務 経 歴)

年 月	勤 務 先	職務・活動内容	担当事業での リーダー経験	職位
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
昭・平 年 月より			有 ・ 無 ()	
昭・平 年 月まで				
保健師実務経験年数 合計		年 カ月 ※育児・介護休暇等は除いた期間を記入		

資料番号	※記入不要
------	-------

	学会名
所属学会	

	取得年	資格名称
取得資格		

資料番号	※記入不要
------	-------

平成 26 年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業（予定）

統括保健師人材育成プログラム

応募理由書

所属：

氏名：

①応募理由：
②本プログラムに期待すること：
③プログラムに参加後、成果をどのようにいかしたいか：

※ 1 ページ以内に簡潔にご記入ください

推 薦 書

平成 年 月 日

公益社団法人 日本看護協会

会長 坂本 すが 殿

(推薦者)所属 _____

(推薦者)氏名 _____ 印

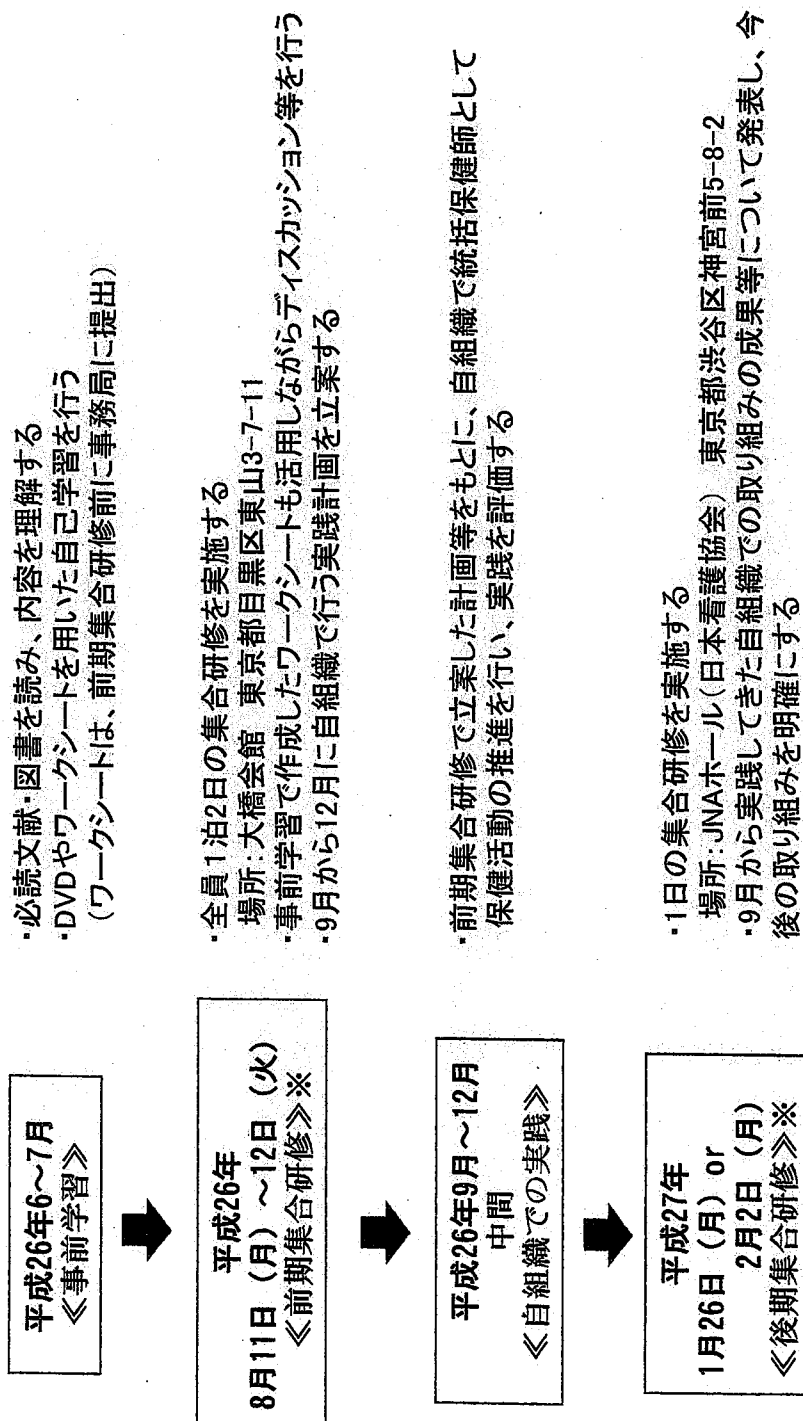
下記の者は統括保健師人材育成プログラムへの参加者として適切と認め、責任をもって推薦いたします。

(志願者) ^{ふりがな} 氏 名		
(志願者)生年月日		平成 年 月 日 生
推 薦 所 見	推薦理由	
資料番号		※

1. ※欄は記入しないこと

3 学习内容(案)

統括保健師人材育成プログラム運用(案)



※集合研修のディスカッションでは、6～7人の研修生に1名の講師がつき、
スーパーバイズを受けながら学習を深めていく。

事前学習

プログラム名	目的・到達目標(ねらい)	学習方法・内容・教材
必読文献、図書等の読み込み	①統括保健師の役割・機能を発揮するうえで、あらかじめ必須となる知識を確認する。	【必読文献・図書】 1.平成24年度地域保健総合推進事業 地域における保健師の保健活動に関する検討会報告書 2.平成20年度地域保健総合推進事業 地区活動のあり方とその推進体制に関する報告書 3.平成25年度 日本看護協会作成 保健師活動指針活用ガイド
行政における組織論	①行政組織構造の全体像を理解する。 ②自身が所属する組織を、行政学や組織論的な側面から客観的に考察し、組織を動かす方法を理解する。	◆DVD学習(約15～20分程度のDVD) ①地方分権における地方公共団体の組織と役割 ②新しい時代に求められる保健師と組織
自組織の構造や多様な角度からの情報の把握	①自組織の行政構造(部門、権限、伝達関係)を理解する。 ②自組織の意思決定過程、権限関係の現状を理解する。 ③保健事業に関連する他部署の事業等を把握する。 ④保健師(保健活動を行うスタッフ)の配置の現状を確認する。	◆指定のワークシート等を活用し、自組織の構造を可視化する。→ワークシートの提出 ①自組織の行政構造を図におとし、様々な部や課の構成を理解する。さらに、権限や伝達等のルール、部署間での関係性等の特徴なども、その図に加筆を行っていく。(行政組織の、ルール(不文律)含む) ②自組織で求められている統括保健師としての自身の役割を認識する。
統括保健師の役割・機能	①統括保健師の概念や役割・機能を十分に理解する。 ②プログラムに参加する決意や意欲を高める。	◆DVD学習(約15～20分程度のDVD) DVD内容例 ①統括保健師とは(ポジション、位置づけ) ②統括保健師になるということ(覚悟) ③統括保健師に求められるスキル(PDCAサイクルを展開させるように環境を調整する役割等) ④本研修の参加にあたって求めること ※保健師としてのプロ意識を含む
保健活動の現状分析	①統括保健師として自組織の保健活動の現状を把握し今後の保健活動の計画を立案する。	◆指定のワークシート等を活用し、自組織の保健活動を可視化し、現状や課題、方向性を分析する。 ①組織横断的に働きかけ、自組織の保健活動の実態を明らかにする(事業一覧、業務チャート、ビビットシート、これからDoシート等を活用し、自組織の保健活動の現状や課題を、統括保健師が組織をリードしながら明らかにしていく。) ②①の各シートを活用し、今後の保健活動の計画を立案する。

時間(分)	プログラム名	目的・到達目標(ねらい)	学習方法・内容・教材
9:00～	受付開始		
9:30～9:50	オリエンテーション		
9:50～10:10	挨拶		
10:10～10:50 (45分)	理解すべき重要施策	①保健活動に反映させていくべき施策を理解する。 ②施策の目的や変更点を理解するなかで、自身の市区町村の保健事業との関連を確認する。	◆講義
11:00～12:30 (90分)	統括保健師としての実践	①統括保健師としての組織横断的な動きをとるためのポイントや円滑な機能の発揮の実践を学ぶ。	◆講義(事例の聴講と質疑応答) ①統括保健師としての機能を発揮した優れた事例(モデル)の報告をうける。 ②自身の活動などと照らし合わせ、自身の組織ではどのように動くことが可能なのかを対比させながら、イメージする。
12:30～13:30 (60分)	昼食		
13:30～15:50 (140分)	自組織の保健活動推進へむけての方略	①自組織の保健活動を組織横断的に推進していくための役割を理解する。 ②自己の統括保健師としての活動を振り返る。	◆演習:グループディスカッション(6～7名程度1グループ) ・事前学習で仕上げてきたワークシート(今後の計画)について、「組織をどう動かしていくか?」「自分は、統括保健師としてどんな動きをしていくのか」について、ディスカッションを行う。
16:00～17:00 (60分)	組織の中で求められる調整力	①組織の中のライン機能、スタッフ機能、意思決定過程などを復習(事前学習)し、改めて統括保健師にもとめられている調整力について理解する。	◆講義 ①「ライン機能」に統括保健師として、どのように絡んでいくかを、自組織をイメージしながら学ぶ。 ②現在の自分の役割・機能を比較し、自分の調整に関する技能を客観視する。 ③質疑応答
	休憩(チェックイン)		

18:00～21:00 (270分)	多角的ディスカッション パジャマミーティング	①一日の学びの内容や疑問点などを明確にする。 ②参加者同士のネットワークを構築する。 ③自身の情報収集のアンテナを張り、他市町村の保健師活動や現任教育の状況などの情報を得る。	①18:00～19:30フリーディスカッション(夕食) ②19:40～21:00グループ別ディスカッション ・本日の感想や学びを共有する。 ・他の市町村の保健活動や統括保健師に関する情報収集を行う。 ・保健師としてのあるべき姿や現任教育、学生実習など様々な視点での活動を「どっぷり」と語り合う。 ・参加者同士のネットワークを深め、今後も情報を交換できる関係をつくる。
-------------------------------	-----------------------------------	--	---

【前期集合研修:2日目】 平成26年8月12日(火)
於:大橋会館 東京都目黒区東山三丁目7番11号

時間(分)	プログラム名	目的・到達目標(ねらい)	学習方法・内容・教材
8:50~9:00	オリエンテーション		
9:00~10:10 (70分)	統括保健師としての アンテナをはり、関 係者を巻き込む力と は①	①統括保健師としての活動を意 識した情報収集方法等を理解 する。 ②組織内の力だけでなく、組織 外の力も活用していく方法を理 解する。 ③困難を乗り越えられるように どう工夫していくのが理解で きる。	◆講義(事例の聴講と質疑応 答) 講師および実践事例報告者
10:20~11:40 (80分)	統括保健師としての アンテナをはり、関 係者を巻き込む力と は②	①自組織でどのように統括保健 師としてアンテナを張り、「どこに いる」「誰を」巻き込みながら、保 健活動を推進していくかをイメ ジできる。	◆演習(グループディスカッ ション) ①良好な関係の中で保健活 動を推進していくための統括 保健師としての動きを、具体 的に考える。 ②組織内だけでなく、組織外 の関係者との積極的な交渉の 方法を確認する。
11:40~12:20 (40分)	自身に求められてい る統括保健師の役 割・機能とは	①これまでの学習やディスカッ ションから、後期集合研修まで の中間に行う(果たすべき)自身 の統括保健師像を具現化する	◆個別学習(自習)
12:20~13:20 (60分)	昼食		
13:20~15:10 (110分)	自組織での保健活 動改革の提案	①統括保健師として求められる 機能や役割を理解し、自身の市 町村の保健活動をどのように推 進していくのかを発表する。	◆演習(発表&意見交換) ※ 各グループ別 ①自身が統括保健師として立 案した計画(15コマ目で書いた もの)を発表し、論拠ある保健 活動の推進について提案す る。
15:10~15:30 (20分)	今後の学習の進め 方について、質疑応 答、事務連絡		

【前期集合研修後：中間 自組織での活動】

プログラム名	目的・到達目標(ねらい)	学習方法・内容・教材
統括保健師としての保健活動推進の提案	①前期集合研修での学びを踏まえどのように活動を展開していくかの計画を具体的に提案する。	◆実習 統括保健師として、自組織の保健活動の見直しや推進の提案を論拠を持って行う。 ①自身の活動目標を言語化する。 ②言語化したことをラインの上司やスタッフなどへ説明(プレゼンテーション)を行う。
保健活動推進の実践	①自身が立案した統括保健師としての活動の実際を経験する。	◆実習 ・立案した計画に基づき、状況に応じて変更させながら統括保健師としての活動を、意識して実践する(他者をまきこみ、活動していく動きを作る) →前期集合研修で作成したワークシートに、実施したこと(仕方)や変更しながらやったこと、やれなかったことをどんどん記入していく。(そのプロセスが重要になっていく。) ・メール等も活用し、このプログラムの参加者同士の交流を生かし、活動の悩みや近況を報告し、意欲を継続させていく。 →取組については後期の集合研修で発表できるよう、要点を整理し、発表できるようにまとめておく。
自身の活動の評価	①統括保健師として活動をした結果を自身で評価する。	◆自習(振り返り) 自組織での保健活動推進の成果や統括保健師としての動きなどについて自己評価する。

【後期集合研修】 平成27年1月26日(月)もしくは2月2日(月)
於: 日本看護協会 JNAホール

時間(分)	プログラム名	目的・到達目標(ねらい)	学習方法・内容・教材
9:00～	受付開始		
9:30～9:40	オリエンテーション		
9:40～9:50	ご挨拶		◆厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課保健指導室 山田敏充室長
9:50～12:00 (130分)	自組織の保健活動推進へむけての方略②	①自組織での保健活動の取り組みの成果や課題を整理し、今後の方向性を確認、共有する。	◆演習(自組織での活動報告について)&ディスカッション ①実践事例発表 ②前期研修で立案した計画の実行状況などを1人8分で発表する。(6～7名程度1グループ)
12:00～13:10 (70分)	昼食(ランチョンミーティング)		
13:10～15:10 (120分)	統括保健師として必要なスキルや活動のコツについて	①これまでの活動を通し、今後の統括保健師としての役割・機能を推進するコツを学ぶ	◆演習(全体ディスカッション) ①全体ディスカッション→各グループからの意見発表 ②全体での意見交換
15:20～16:00 (40分)	講師陣からのエール	①講師陣の講評を受け、今後の自身の活動への意欲を高める。	
16:00～16:30 (30分)	修了証授与		